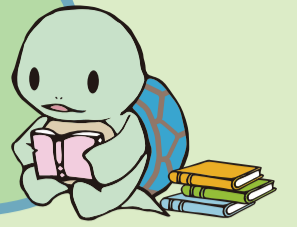


# 新しい図書館を みんなで創ろう！



図書館基本設計の  
方向性が  
見えてきました！



現在、亀山駅周辺再開発事業では、新しい図書館を含む2ブロックの基本設計を進めています。

基本設計とは、建物の設計を進めていく過程で、規模や配置、構造などの基本的な事項を計画の条件に合うように決めていくものです。

新しい図書館の場合は、本年5月に策定した図書館整備基本計画に示された「多機能型」「交流によるにぎわい」「図書館本来の機能」といった条件に適合するように構造や内部の配置（ゾーニング）を決めていくこととなります。

これまでの図書館市民ワークショップなどの意見を踏まえて基本設計案の検討を重ね、10月1日（月）に開催した図書館整備推進委員会においてその方向性についてもご了解をいただきました。

## 新しい図書館の構造

整備基本計画では、新しい図書館は、延床面積 3,000 m<sup>2</sup>程度とすることと、交流などを主体とした「動」の空間と学びを主体とした「静」の空間を一体的に整備するものとし、敷地を有効に利用し、館内において「動」と「静」双方を担保するために4階建ての階層構造が提案されています。

一階は、気軽に入りやすく、地域の情報や雑誌などを軸に語り交流する「動」の空間。二階は親子での利用を中心とした空間。三階・四階は落ち着いて読書や学びを行う「静」の空間。下から上の階に行くにしたがって「動」から「静」の空間へ移っていく構造です。

階層構造を持つことによって、鉄道の町亀山にふさわしく眼下に亀山駅の全体を、その背景に市域南部丘陵と津市の長谷山、布引山系を望むことができることでしょう。



新図書館から望むことができると想定される景観。  
2022年の開館時には駅前広場も整備が進められていると考えられます。

## 新しい図書館のゾーニング

「動」から「静」の空間構成を生かし、多機能性を持った図書館を創出するためにフロアごとにさまざまな機能を付加しています。また、それぞれの機能を独立させるのではなく、各フロアの図書館本来の機能と融和させることで、図書館での学びと交流をより広い展開を図っています。

### 「多機能性」によって図書館部分が小さくならない？

新しい図書館がめざす「多機能性」とは、毎日の生活において図書館がより役立つ存在となるために、さまざまな機能を付加するものです。

このためさまざまな機能は図書館本来の機能と一体的になるものであり、図書館整備基本計画に示した蔵書数24万冊、開架図書16万冊分を確保することが前提となっています。

新しい図書館の開架閲覧スペース（児童図書スペースを含む）は、現在の図書館の開架閲覧スペース（438.8 m<sup>2</sup>）の概ね3倍強になるものと想定できます。

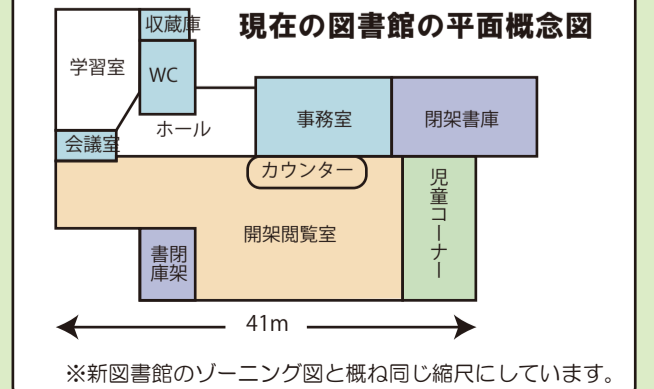
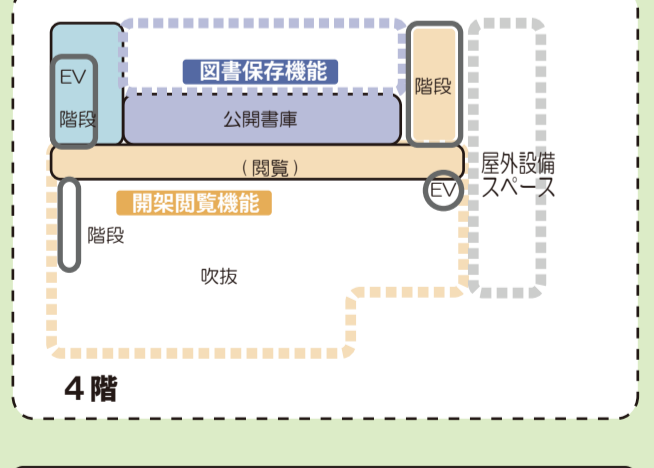
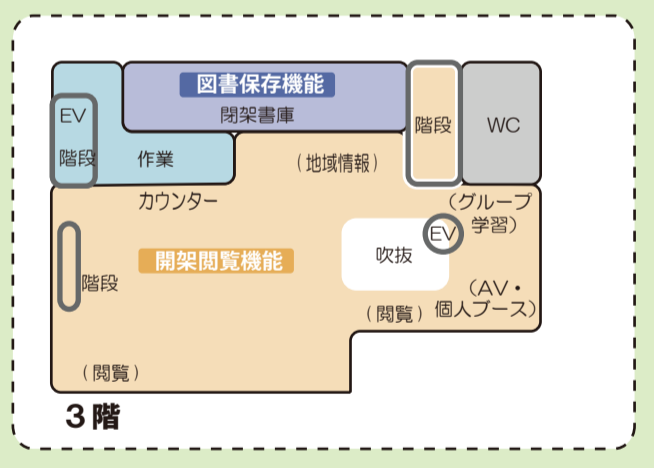
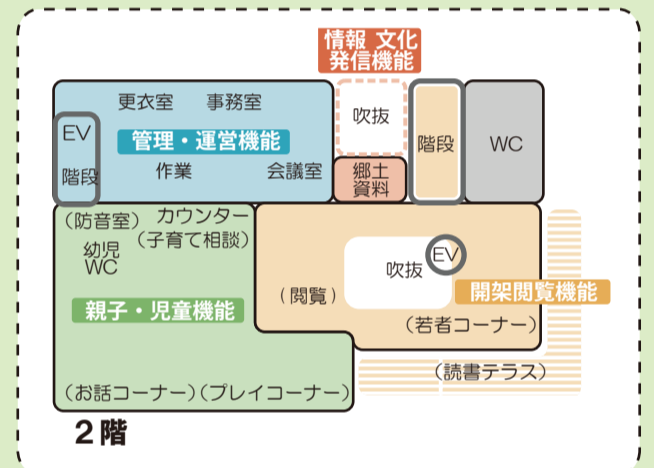
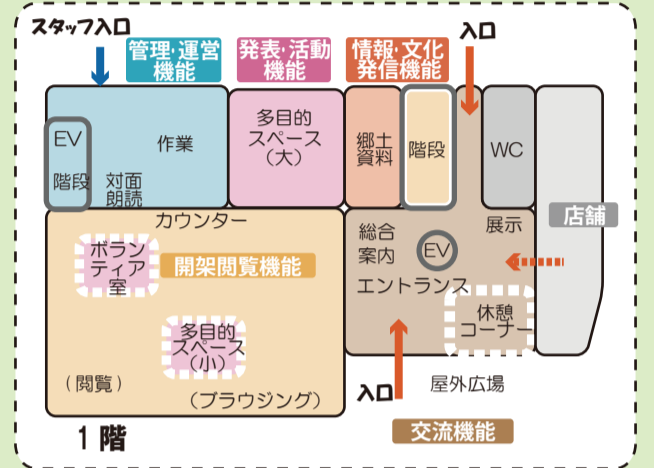
### 駐車場は大丈夫？

現在の図書館の抱える課題として駐車場の狭さ（軽自動車専用を含め20台分）があります。

図書館整備基本計画では、新しい図書館は93台分が必要と予測していますので、その台数分程度の確保を図ります。このために、建物の基礎工事で掘削する地下空間を駐車場として活用する方法や、建設予定地の近接地も併せて台数分を確保する方向で検討を進めています。

### 各階のゾーニングの方向性

※今後の検討によって変動する可能性があります。



※新図書館のゾーニング図と概ね同じ縮尺にしています。

## 平成30年度第3回（通算第7回）図書館市民ワークショップ

平成30年10月8日（月・祝）午前10時～12時に青少年研修センター2階研修室で開催しました。

### 「図書館の多機能性を考える！～人が集い交わるための仕掛けづくりとは？～」

今回は、テーマに、「成り切りワークショップ」と題して参加者が高校生やサラリーマン、高齢者などに成りきって、さまざまな立場の人の目線で、基本設計の方向性案を検討のベースとして、新図書館の基本理念である「学びの場からつながる場へ」を実現するためにそれぞれの機能ゾーンでどのようなことを行っていったらいいのかを考えました。

また、それぞれのゾーンの位置関係や施設面での配慮すべき点がないかも意見を出し合いました。

その結果は表のとおりです。

※ゾーニングに関係するものを抜粋しました。



階	配置される機能	行いたいこと・行なってほしいこと	留意・配慮すべきこと
1階	管理・運営機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出冊数と期間の拡大</li> <li>休館日も予約本の貸し出し可能</li> <li>自分で検索可能</li> <li>これまでより長い開館時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>受付、返却、貸出し、検索の作業スペースの確保</li> <li>障害者が利用できるシステム</li> <li>エレベーター、階段、通路の充実</li> <li>地下駐車場からの出入口の設置</li> <li>十分な駐車場の確保</li> <li>各階トイレの設置</li> </ul>
	開架閲覧機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>寝転がり可能</li> <li>ゆっくり出来る椅子</li> <li>オープンな場で、職員の顔が見える</li> <li>サークルお薦め図書コーナー</li> <li>週末まとめ読み新聞雑誌コーナー</li> <li>市内事業所や地域の産物、自然環境等の資料が充実している</li> <li>ビジネス支援関係資料が充実している</li> <li>雑誌のバックナンバーが揃っている</li> <li>話題の本、お薦め本の紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本に関するアドバイザーがいる相談コーナー</li> </ul>
	交流機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>他のサークルとの交流</li> <li>サークル等のお茶会や会合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交流スペースは入口の近くに</li> <li>エントランスホールにカフェと休憩スペースを</li> </ul>
	発表・活動機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>サークル活動等の発表</li> <li>バンドやダンスの練習</li> </ul>	
	情報・発信機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊先、観光モデルコースの案内</li> <li>近隣レジャー施設の案内</li> <li>お薦め商店商品、歴史文化のガイドマップ案内</li> <li>市内の季節による花等の観光案内</li> <li>市や自治会等の行事イベント等の案内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光案内スペースの設置</li> </ul>
2階	親子・児童機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコンで情報収集や調査</li> <li>お絵かきや読み聞かせ</li> <li>絵本を声を出して読む</li> <li>料理や旅行計画立案</li> <li>子育ての悩み相談</li> <li>グループ学習ができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>託児所的機能を設置</li> <li>子供の読み聞かせ場所</li> <li>児童図書担当司書の設置</li> <li>消音壁の設置</li> <li>落下などの子どもの事故防止</li> </ul>
	管理・運営機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども自身で貸出し返却ができる</li> <li>圧迫感のない広々としたスペース</li> <li>飲食が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他館や学校との連携システム</li> </ul>
	情報・発信機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>吹き抜けを撤去し、郷土資料室の拡充</li> </ul>
	開架閲覧機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>親子や仲間とおしゃべり</li> <li>本にじっくり親しむ</li> <li>マンガが気軽に読める</li> <li>天気がいい時は屋外でも読書</li> <li>畳で寝転んでゆっくり読書</li> <li>世代間交流ができる</li> </ul>	
3階	開架閲覧機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>屋外でも読書ができる</li> <li>寝転がって本が読める</li> </ul>	
	学習機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>1人で勉強できる</li> <li>落ち着いて学習ができる予約制学習スペース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループの学習コーナーの設置</li> </ul>
	図書保存機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書の整理</li> </ul>
4階	学習機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>パソコン持参で利用</li> <li>夜遅くまで利用可能</li> <li>疲れたらちょっと歩き回れる</li> <li>JR 運休時などの防災拠点</li> <li>ヘッドホン使用OK</li> <li>受験勉強</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>静かに学習できる音環境</li> </ul>
	図書保存機能		<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書の修理、整理</li> </ul>



### 中井先生のまとめ

愛知工業大学工学部建築学科教授  
市民ワークショップアドバイザー：中井孝幸 教授

図書館のゾーニングを考えるうえで、「音」の問題は重要な視点となります。どの機能でどのような音が発生するかを想定して、他の機能への影響も十分に考えておく必要があるでしょう。この点で、階層によって「動」から「静」に移行する考え方は一つの解決策になると思います。

### 次回の図書館市民ワークショップ

次回以降のワークショップについては、日程など詳細が決まり次第、市広報や図書館WSなどでお知らせします。

### ■発行

：亀山市 教育委員会事務局 生涯学習課  
〒519-0195 三重県亀山市本丸町 577 番地  
電話：0595-84-5057 FAX：0595-82-6161  
メール：syougaku@city.kameyama.mie.jp

■ワークショップアドバイザー  
：中井孝幸（愛知工業大学教授）  
平成30年11月1日  
新図書館整備事業ニュースレター  
第7号